

テニュアトラック教員の公募について

1. 職位及び人員 教授または准教授 1 名
2. 所属 山形大学 学術研究院
(理学部主担当、データサイエンス教育研究推進センター副担当)
3. 専門分野 情報科学・データサイエンス分野(統計的機械学習、人工知能、データマイニング、情報検索など、理論と応用の両面からのアプローチが可能な研究分野に属していることが望ましい)
4. 採用予定年月日 令和 6 年 10 月 1 日以降のできるだけ早い時期
5. 職務内容 職位に応じた学部・大学院における研究活動および教育・運営
6. 任期

任期は 5 年間とします。ただし、採用時においてテニュア審査を行う採用時審査、もしくは着任時から 3 年以降にテニュア審査を行い、テニュア審査基準を満たしている場合は、翌年度から任期の定めのない教員として採用します。理学部テニュアトラック審査基準については 3 ページをご覧ください。

※本学のテニュアトラック制度については、下記からご参照ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/>

※テニュアトラック教員の場合、「テニュアトラック制度に関する規程」第 8 条による特別研究費が付与されます。(採用年度から次年度までは各年度 50 万円、3 年目から 5 年目までは各年度 20 万円)

7. 給与

国立大学法人山形大学年俸制(Ⅱ)適用職員給与規程による年俸制。

経歴等を考慮し、基本年俸を決定します。

8. 応募資格

- (1) 応募時点で博士の学位(PhD を含む)を有すること。
- (2) データサイエンスに関する高度専門人材育成へ向け、学部教育だけではなく大学院教育ならびに全学的教育においても貢献できること。研究では、関連教員と連携して情報科学・データサイエンス分野の研究を主体的に推進できること。
・担当授業(学部)：線形代数、プログラミング、計算科学、応用数学、多変量解析、基盤共通教育の数学およびデータサイエンス関連科目、卒業研究など
- (3) 山形大学データサイエンス教育研究推進センターの協力教員として、講演会等の企画・運営に貢献できること。
- (4) 日本語を母語としない場合は、大学運営に関する諸業務のマネジメントを担当できる日本語能力を有する方。

9. 審査方法

書類選考後、面接を行います(旅費の支給はありません。なお、オンラインで実施する場合があります)

ます)。

10. 応募書類

以下の(1)～(7)の印刷物、ならびに(1)～(7)の書類を PDF ファイルにまとめ、USB メモリに記録したものを郵送すること。ただし(2)の候補者データシートはエクセルファイルも提出すること。国外在住者が応募する場合は、パスワードで保護した電子データを E-mail で提出してもよい(容量が大きくなる場合は、複数のファイルに分割して送ること)。E-mail で応募書類を送信する場合は、送信後、2 勤務日以内に受領確認メールが届かない場合は問い合わせ先まで連絡してください。

(1) 履歴書(様式をダウンロードして記入) <https://www.sci.yamagata-u.ac.jp/recruit/>

(2) 候補者データシート(様式をダウンロードして記入)

<https://www.sci.yamagata-u.ac.jp/recruit/>

(3) 研究業績目録(様式自由:ただし下記の項目に分類のこと)

(a) 原著論文(査読有り、公表が受理されたもののみ記載すること)、(b) 総説・解説、(c) 著書、(d) 特許(出願・登録、国内・国際の区分を明記すること)、(e) 招待講演(国際会議、国内会議を明記すること)、(f) 競争的研究資金・助成の獲得(代表・分担を区別し、研究費の総額を記載すること)、(g) 受賞歴、(h) その他(社会貢献等)

(4) 主要論文(5 編以内の PDF ファイルおよび、各論文について 200 字程度の概要)

(5) これまでの研究概要および着任後の研究計画(A4 紙 3 枚以内)

(6) これまでの教育経験と教育についての抱負(A4 紙 2 枚以内)

(7) 応募者について照会可能な方 2 名の氏名と連絡先

11. 応募締め切り 令和 6 年 6 月 7 日(金) 必着

12. 応募書類の提出先ならびに問い合わせ先

〒990-8560 山形市小白川町一丁目 4 番 1 2 号

山形大学小白川キャンパス事務部 総務課総務担当(理学部)

yu-risoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※ 封筒の表に「情報科学・データサイエンス分野 応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。

13. その他

(1) 山形大学では全学をあげた男女共同参画の推進と、ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。本学には、小白川キャンパス保育所、医学部保育所・病児保育室など、各キャンパスに保育支援制度があり、子育て支援が充実しています。また、ダイバーシティ研究環境実現のために、研究継続支援員制度、学会参加時の保育支援制度をはじめ、女性研究者の活躍を支援する制度を整えています。下記 URL をご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室 <https://www.diversity.yamagata-u.ac.jp/>

(2) 研究業績の評価に関しては、出産・育児介護等で研究活動を休止した期間(ブランク期間)の影響を考慮します。ブランク期間がある場合は、研究業績一覧の最後に記載してください。

(3) 応募書類は返却致しません。この情報は本選考以外の用途には使用致しません。

(4) 選考の過程で別途、推薦書等の書類の提出をお願いすることがあります。

(5) セクシュアルハラスメントを含む性暴力等の防止に向けた取組の推進について

学生等に対する性暴力等を原因とする懲戒処分歴がある場合は、その具体的な事由を応募の際に必ず申告してください。なお、当該事実が後日判明した場合は、経歴詐称による採用取消、懲戒解雇等の対象となる場合があります。

(6) 定年：65 歳 試用期間：6 か月

理学部テニユア・トラック基準（講師以上用）

1. テニユア取得のための基準

教育、研究、外部資金獲得実績、社会貢献の各項目について、着任前に教員候補者選考委員会において基準を作成し、運営会議へ諮る。以下を基準とし公募時に求めた役割・業務・分野に応じて決定する。

1－2. テニユア・トラック講師・准教授・教授の基準

次に掲げる全ての要件を満たした上で、総合的に判断するものとする。

- (1) 教育能力 授業改善アンケート等により高い評価を受けていること。
- (2) 研究能力 適任審査までに博士前期課程担当資格基準（教授は博士後期課程担当資格基準）を満たし担当資格を得ていること。
- (3) 外部資金獲得実績 科学研究費補助金等により自立的に研究を遂行できる基盤的研究資金を獲得していること。
- (4) 社会貢献 社会貢献学会等における学術貢献活動及び地域・国際貢献活動等の社会貢献に積極的であること。